

## 平成 23 年度 青少年健全育成地域活動推進事業

蒲都市は、昭和 41 年 5 月に「青少年を守る都市宣言」を行って以来、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和 56・57 年度に当時の文部省および愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことから、各中学校区に青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導で P T A を中心に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その輪は徐々に、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

昭和から平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成 7 年ごろからは、「地域ふれあい活動」として様々な内容で行われるようになった。子どもたちも多く参加するようになったが、参加意識を高めるために企画の段階から中学生を取り込むようになった。地域のために働く中学生の姿を見て、小学生は憧れを感じ、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会となっている。

ここ数年、1 万人を超える市民の皆様の参加をいただき、親と子、そして地域の大人と子どもが、互いにふれあう活動を実施し、大きな成果をみるに至っている。

### 1 子どもたちをめぐる社会的背景

インターネットなどのメディアの発達、コンビニエンスストアや自動販売機の普及、都市化、少子化などを背景に、子どものコミュニケーション能力不足が指摘されている。木登りや魚釣りなどの遊び体験がない子どもは共感性が育ちにくく、また、被虐待児は自尊感情が育ちにくいとも言われる。このような状態は社会性の低下を招き、人間不信からストレスを抱えやすく、学校や職場で不適應となりがちで、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、自傷行為、自殺、また凶悪事件を引き起こすきっかけになるとも言われている。

### 2 地域活動の有用性

平成 22 年 10 月発行の国立青少年教育振興機構による「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書によると、清掃活動、廃品回収、地域運動会といった地域活動により自尊感情、共生感、意欲・関心、価値・規範意識、人間関係能力、勤労観・職業観、文化的作法・教養が育まるとされている。特に小学校高学年や中学生の地域活動への参加は、リーダー的な役割を期待されているという意味もあり、非常に効果的であるとのことだ。

地域活動というと時代遅れの感があるが、未来を担う青少年を健全に育成するためには、中学生を参画させた地域ふれあい活動を、より一層推進することが期待される。

# 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動一覧

## 1 健全育成協議会・準備運営会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月26日(火)	大塚公民館	20
	5月20日(金)	大塚公民館	60
	2月9日(木)	大塚公民館	21
2 三谷	5月8日(日)	東部市民センター	46
	6月5日(日)	三谷中学校	126
3 蒲郡	4月25日(月)	蒲郡中学校	25
	6月9日(木)	蒲郡中学校	101
4 中部	5月9日(月)	中部中学校	60
	11月24日(木)	中部中学校	34
5 塩津	5月14日(土)	塩津中学校	98
	10月21日(金)	塩津小学校	80
6 形原	4月23日(土)	形原中学校	23
	5月22日(日)	形原中学校	108
	1月21日(土)	形原中学校	58
7 西浦	4月25日(月)	西浦中学校	30
	5月19日(木)	西浦公民館	60

## 2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	2,000	6月18日 ~ 8月20日
2 三谷	5	1,250	6月19日 ~ 11月27日
3 蒲郡	7	4,220	5月15日 ~ 10月2日
4 中部	3	1,600	5月15日 ~ 10月23日
5 塩津	9	1,162	5月15日 ~ 9月4日
6 形原	11	1,812	6月26日 ~ 9月4日
7 西浦	2	500	6月26日 ~ 6月26日
計	41	12,544	